

2006年6月第1四半期 決算参考資料

(注意事項)

当資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また当資料については、会計士による監査の対象外となっています。

2006年8月7日

アルプス電気株式会社

2007年3月期第1四半期（4-6月累計）連結決算の進捗状況

2006年8月7日
アルプス電気株式会社

【2007年3月期 第1四半期 連結業績】

<連結>				(単位：億円) 億円未満は切り捨て表示		
(第1四半期：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2006/4-6月 実績	2007/3上期 (5/10) 予想	進捗 率	2005/4-6月 実績	前年同期 差異	増減 率
売上高	1,703	3,500	49%	1,682	21	1%
営業利益	73	140	52%	107	△34	△32%
経常利益	76	135	57%	110	△33	△31%
四半期純利益	28	50	58%	45	△16	△36%
為替レート(US\$)	114.50円	115.00円	0.50円	107.69円	6.81円	円安
〃 (EURO)	143.78円	140.00円	3.78円	135.57円	8.21円	円安

(セグメント別売上高：公表値進捗)				(前年同期比)		
	2006/4-6月 実績	2007/3上期 (5/10) 予想	進捗 率	2005/4-6月 実績	前年同期 差異	増減 率
コンポーネント	223	455	49%	186	37	20%
磁気デバイス	169	350	49%	172	△2	△1%
情報通信	141	344	41%	133	7	6%
ペリフェラル	173	450	39%	269	△96	△36%
車載電装	227	400	57%	195	31	16%
【電子部品計】	935	2,000	47%	957	△22	△2%
音響製品	647	1,250	52%	618	28	5%
物流・その他	121	250	48%	106	14	13%
【合計】	1,703	3,500	49%	1,682	21	1%

【コメント】

① 第1四半期売上高(4-6月) <対中間期予想の進捗率>

- ・ 連結売上高 1,703億円 (対中間期予想の進捗率 49%)

為替影響：上期予想に対して大きな影響なく、当第1四半期累計で概算3.5億円の増収要因

(参考：為替1円に対する売上高への概算影響額 US\$ 2.2億円/月、EUR 0.6億円/月)

電子部品事業における進捗率は47%：情報通信、ペリフェラルに進捗の遅れが見られるものの、デジタル機器の世界的な普及や自動車の電装化などを背景に、コンポーネント、車載電装事業は好調。磁気デバイス事業は、予想通り。事業全体としては、上期予想通りの進捗である。(詳細、以下③)

音響製品事業における進捗率は52%：自動車メーカー向けカーナビや「iPod」に対応した市販市場向け車載用CDプレーヤなどが想定通りの推移を見せている。

物流・その他事業における進捗率は48%：物流事業について、体制強化に取り組むとともに拡販活動を進め、物流が増加している中国内では、更なる機能の整備・強化を図るなど、想定通りの推移を見せている。

② 第1四半期利益(4-6月) <対中間期予想の進捗率>

- ・ 営業利益 73億円 (対中間期予想の進捗率 52%)

為替影響：上期予想に対して殆ど影響なく、当第1四半期累計で概算0.2億円の増益要因

(参考：為替1円に対する営業利益への概算影響額 US\$ 0.6億円/月、EUR 0.1億円/月)

電子部品事業における進捗率は41% (同1Q 26億円/上期予 65億円、為替影響を含む) となり、一部の製品に一時的な生産調整などの影響があるものの、新製品立上げなどにより、上期予想値については、達成出来る見通しである。

音響製品事業における進捗率は62% (同1Q 27億円/上期予 45億円、為替影響を含む) となり、カーナビやCDプレーヤなどの好況感は引き続き続いており、上期予想値については、達成出来る見通しである。

物流・その他事業における進捗率は56%（同1Q 17億円/上期予 31億円、為替影響を含む）となり、比較的好調な状況で推移しており、上期予想値については、達成出来る見通しである。

- ・ 経常利益は、76億円（対中間期予想の進捗率 57%）となる。
営業利益の状況に沿った進捗。
- ・ 四半期純利益は、28億円（同 58%）となる。
経常利益の状況に沿った進捗。

③ 電子部品事業の部門別状況

（コンポーネント）

- ・ コンポーネント事業は、第1四半期売上高が 223億円（対中間期予想の進捗率 49%）となる。
主に携帯電話用のコンタクトシートTMやメモリーカード用コネクタ、小形デジタル機器用のスイッチ、ゲーム機用のボリュームなどが好調に推移している。

（磁気デバイス）

- ・ 磁気デバイス事業は、第1四半期売上高が 169億円（同 49%）となる。
MRヘッドにおけるMaxtor向売上の減少含め、ほぼ計画どおりに推移している。

（情報通信）

- ・ 情報通信事業は、第1四半期売上高が 141億円（同 41%）となる。
地上デジタル放送用チューナは堅調だが、アナログチューナの減少や携帯電話用モジュール製品の進捗が遅れている。

（ペリフェラル）

- ・ ペリフェラル事業は、第1四半期売上高が 173億円（同 39%）となる。
在庫調整が影響しているが、下期に向けた新製品の立ち上げが見込まれている。

（車載電装）

- ・ 車載電装事業は、第1四半期売上高が 227億円（同 57%）となる。
全ての製品カテゴリーにおいて好調に推移している。

④ たな卸資産在庫

- ・ 連結ベースで2006年6月末は、3月末と比べて73億円の増加（3月末 837億円→6月末 910億円）。
電子部品事業：（同 543億円→573億円（+30億円））
一括購入による材料在庫増など。
音響製品事業：（同 285億円→330億円（+45億円））
主に、新製品生産規模増加に伴う在庫増など。

⑤ 2007年3月期中間期・通期の連結業績予想について

- ・ 本年5月10日に開示した業績予想は、中間期・通期ともに変更しない。

（業績予想の利用に関する注意事項）

上記に記載した将来に関する予想数値およびコメントは、本資料の開示日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値およびコメントと異なる結果となる可能性があります。なお、本文中に記載の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

1. 経営成績 (単位：億円)

	2005年度					2006年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期 (予)	通期 (予)
売上高	1,682	1,796	1,845	1,771	7,096	1,703	-	3,500	7,100
国内	412	411	441	388	1,655	408	-	-	-
海外	1,269	1,384	1,403	1,382	5,440	1,294	-	-	-
営業利益	107	109	146	90	454	73	-	140	320
経常利益	110	109	150	93	464	76	-	135	310
当期純利益	45	31	76	35	188	28	-	50	130

2. 製品部門別売上高 (単位：億円)

	2005年度					2006年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期 (予)	通期 (予)
電子部品事業	957	1,084	1,091	992	4,125	935	-	2,000	4,100
コンポーネント	186	212	223	214	836	223	-	455	910
磁気デバイス	172	217	190	206	786	169	-	350	660
情報通信	133	152	161	139	587	141	-	344	720
パッシブ	269	311	315	204	1,100	173	-	450	960
車載電装	195	191	200	227	814	227	-	400	850
音響製品事業	618	597	636	658	2,511	647	-	1,250	2,500
物流・その他	106	115	117	119	459	121	-	250	500
合計	1,682	1,796	1,845	1,771	7,096	1,703	-	3,500	7,100

3. 部門別営業利益 (単位：億円)

	2005年度					2006年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期 (予)	通期 (予)
電子部品事業	57	67	105	53	284	26	-	65	160
音響製品事業	33	23	23	16	96	27	-	45	95
物流・その他	15	16	16	19	68	17	-	31	67
消去	1	1	1	1	5	1	-	△1	△2
合計	107	109	146	90	454	73	-	140	320

4. 部門別設備投資・減価償却実施額 (単位：百万円) (単位：億円)

	2005年度					2006年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期 (予)	通期 (予)
電子部品事業	104	96	77	93	371	84	-	194	333
音響製品事業	27	31	25	23	107	23	-	73	113
物流・その他	6	4	5	6	23	7	-	15	25
消去	△0	△2	△0	△0	△2	△0	-	-	-
合計	138	129	108	124	500	114	-	284	472
減価償却実施額	91	96	89	91	369	95	-	192	387

(注)設備投資については、実績は取得ベースで記載し、予想は発注ベースでリースを含んで記載しております。

5. 部門別研究開発費 (単位：億円)

	2005年度					2006年度			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	上期 (予)	通期 (予)
電子部品事業	40	41	43	40	166	44	-	100	193
音響製品事業	67	67	80	72	286	79	-	150	300
物流・その他	0	0	0	0	1	0	-	0	1
合計	108	109	124	112	454	124	-	250	494

6. 部門別棚卸資産 (製品、仕掛品、材料・貯蔵品) (単位：億円)

	2005/6	2005/9	2005/12	2006/3	2006/6
電子部品事業	532	553	560	543	573
音響製品事業	345	343	364	285	330
物流・その他	8	7	8	8	6
消去	0	-	-	-	-
合計	887	905	933	837	910

7. 従業員数 (単位：人)

	2005/6	2005/9	2005/12	2006/3	2006/6
期末従業員数	33,704	34,934	35,067	34,655	35,346
(参考)単独従業員数	5,873	5,813	5,802	5,754	5,908

億円未満は切り捨て表示。